

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0201	政策名	環境の保全	施策主管課	生活環境課	課長名	松原 弘明
政策の目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮らしています						
施策No	01	施策名	地球温暖化の防止	関係課名			
施策の目指す姿	温室効果ガスの排出に配慮した生活をしています						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防止するためには、温室効果ガス削減に向けた市民一人ひとりの取り組みが大切です。 温室効果ガスの排出削減を図るため、再生可能エネルギーの導入は必要ですが、経済的な負担等の問題があります。 						

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の現状及び温室効果ガスの排出削減に向けた効率的なエネルギー使用に関する市民や事業者の関心を高めるため、効果的な啓発、周知方法について検討する。 周辺環境との調和に配慮しつつ、地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入が図られるよう情報収集や普及啓発に努める。
反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報紙やホームページ、コミュニティFMを通じ、夏・冬の節電や省エネ対策について周知を図ったが、例年と同様の啓発内容となった。 再生可能エネルギーの適正導入を目的とした条例の制定について検討するため、他自治体の制定状況等の情報収集を行った。また、市ホームページにおいて市内事業所の再生可能エネルギー導入の取り組みを紹介した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)省エネルギー型の暮らしへの転換 市設置防犯灯のLED化の推進に向けた手法の検討 防犯灯の修繕に当たっては順次LED灯への交換を実施したほか、防犯灯のLED化に向けた具体的な手法を検討した 公共施設等におけるLED照明など高効率機器の導入推進 環境管理推進員を通じ「花巻市エネルギー管理標準」について周知し、設備の更新時に合わせた導入を促した 再生可能エネルギーの利活用の推進と省エネルギーを一層推進するライフスタイルの普及 市ホームページにおける再生可能エネルギー及び省エネルギーに関する情報を発信した</p> <p>(2)地球温暖化対策の意識啓発 日常生活や事業活動における温室効果ガス排出削減に対する意識啓発 節電や資源リサイクル等、市の広報紙やホームページ、コミュニティFMを通じた情報発信や、地球温暖化対策をテーマとした環境学習講座の開催、ごみの分別等をテーマとした小学校への出前授業等により啓発を行った</p>
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
環境にやさしい取り組みを行っている市民の割合	市民自ら環境にやさしい生活をしているかどうかを示す指標。日常生活で実践可能な項目について、冷房の適切な温度設定、テレビ・照明等のこまめなスイッチオフ、食事を残さず食べるなど生ごみを減らす、適切な火力調節を行うなど省エネを心がけた調理、環境に配慮した商品の利用、洗剤・食器洗い時等に水を流したままにしない、外出時の自転車・公共交通利用や自動車運転時のエコドライブ	出典：市民アンケート 問：あなたは日々の暮らしの中で次のような環境にやさしい取組を行っていますか？ 左記各設問について選択者を集計。更に、各7(8)項目の平均値を算出し、その数値をもって環境負荷の少ない生活者の割合を測る。	%	目標値		57.00	59.00	61.00		
				実績値		59.10	58.30	60.70		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「環境にやさしい取り組みを行っている市民の割合」・・・【達成度b】 8項目すべてにおいて回答率が上昇しており、特に、ホームページ等を活用し啓発に取り組んだ「食品ロスの削減」や、ごみ減量アドバイザーによる出前講座、ごみ集積所での現地指導に取り組んでいる「ごみの分別」の回答率が伸びていることから、事業の成果が表れてきていると考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(環境学習推進事業)環境学習講座(地球温暖化対策)については、参加者アンケートによると内容的にはおおむね好評であることから、受講者数の増加を図るため事業の周知方法に工夫が必要である。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー型の暮らしの実現には市民一人ひとりの意識の向上が必要である。 ・温室効果ガスの排出削減を図るためには地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入が有効であるが、導入には経済的負担を伴うほか、市民の安全で安心な生活環境が守られるよう防災や自然環境・景観保護の観点に立った配慮が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の現状及び温室効果ガスの排出削減に向けた効率的なエネルギー使用に関する市民や事業者の関心を高めるため、環境学習講座の周知方法の見直しやホームページなどを通じた積極的な情報提供に努める。 ・家庭でできる節電や省エネルギー対策に関する意識啓発について、内容の充実を図るよう努める。 ・公共施設への再生可能エネルギー導入の可能性について検討するほか、再生可能エネルギー設備の設置が適正に行われるよう、設置に関する手続等を規定する条例の制定について検討する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	維持保全経費	相談センタ	間接・少数	直結	-
	防犯灯の修繕の際、交換可能なものから順次LED照明に交換 (31基交換)		B		
020	温暖化対策意識啓発事業(ゼロ予算)	生活環境課	一致	直結	-
	夏や冬の節電、家庭でできる温暖化対策について、市広報紙やホームページ等を通じた意識啓発を実施 (広報紙掲載2回、コミュニティFM放送2回、ホームページは随時掲載)		A		
030	環境学習推進事業	生活環境課	間接・少数	直結	C
	地球温暖化の現状と対策等について学ぶ環境学習講座を実施 (開催回数1回、受講者7名)		B		